

唐戸を見守って一世紀

日本の近代建築史を代表する建築物、「旧秋田商会ビル」は今年100周年を迎えます。

旧秋田商会ビルは、大正4（1915）年に竣工した和洋折衷の極めてユニークな建築物です。

この建物は、鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、塔屋付き、屋上には日本庭園と日本家屋を備えています。内部は、1階が純洋風の事務所空間、2階と3階は格調高い書

院造住居となっています。西日本で最初の鉄筋コンクリート造の事務所建築であるとともに、わが国に現存する同種建築物としては最古級のものです。

秋田商会は、日露戦争末期の明治38（1905）年4月の創立で、主に木材取引を中心とした商社活動と海

運業を営み、台湾、朝鮮半島、大陸にも進出した港湾都市下関を代表する企業でした。



和室(2階)



金子みすゞ 上山雅輔姉弟のへや(1階)

現在、旧秋田商会ビルは下関観光情報センターとなっています。1階には、生前最後の金子みすゞを撮影した可能性があるカメラを展示しています。2階・3階は簡単な手続きをすれば見学できますので、ぜひ見学してみてくださいいかがでしょうか？

開館時間 午前9時30分～午後5時
入館料 無料 休館日 年末年始
固観光施設課(☎21-1-8338)、下関観光情報センター(☎21-4141)

◆ 100周年記念イベント

100周年を記念して、年間を通じてさまざまなイベントを開催します。100周年記念セレモニーを11月に開催する予定ですので、詳細が決まり次第お知らせします。

着付け体験

『しものせき女子旅(8人)との』
コラボ企画！

大正ロマンを味わえる着付け体験(4月の土・日曜日、5月10日、6月28日までの日曜日のみ)を開催します。建物の2・3階の和室で、大正時代の衣装に着替えて、そのまま唐戸を散策できます。予約不要・1人500円となっていますので、この機会に着物で唐戸を散策してみませんか？



西南女学院大学観光文化学科の学生が着付けをします！

春の屋上庭園公開！

4月29日水の午前10時～午後4時、屋上庭園を公開します！この時期は、ナンジャモンジャの木が開花し、白い花が雪化粧をしたような雰囲気です。開花期間は1週間くらい。運がよければ、公開の日に開花しているかも！この機会に旧秋田商会ビルに行ってみよう！



日本家屋(屋上)



日本庭園(屋上)